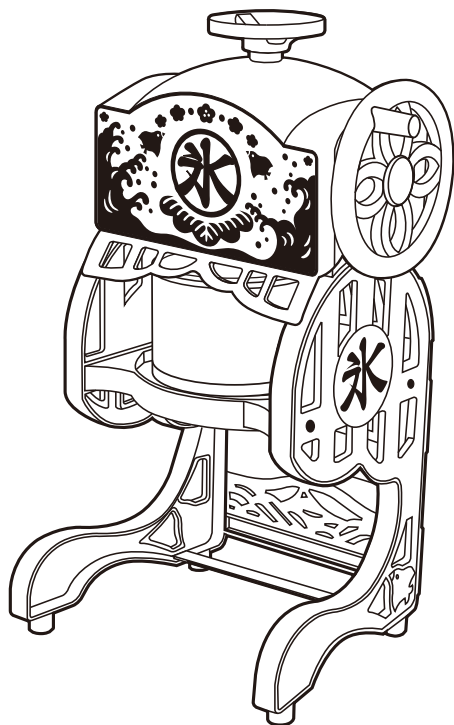


電動かき氷器

DCSP-20





もくじ

安全上のご注意	2～3
各部の名称とはたらき	4
正しい使いかた	5～8
お手入れと保存	9～10
修理・サービスを依頼する前に	11
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。



仕 様

品 名	電動本格ふわふわかき氷器	質 量	(約) 1.3kg
型 番	DCSP-20	付 属 品	取扱説明書・保証書×1、 ふた付き製氷カップ(Mサイズ)×2、 ブラシ×1
定格電圧	AC 100V		
定格周波数	50Hz/60Hz		
定格消費電力	18W		
商品サイズ	(約)幅23×奥行19×高さ38cm		
コードの長さ	(約) 1.3m		
定格時間	2分		
		製氷カップは、こちらからご購入いただけます  DOSHISHA Marché ONLINE STORE  https://www.doshisha-marche.jp/ 携帯からはこちら	



●仕様等は改善・改良の為、予告なく変更する事があります。●この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取扱をすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	①は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、①の近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

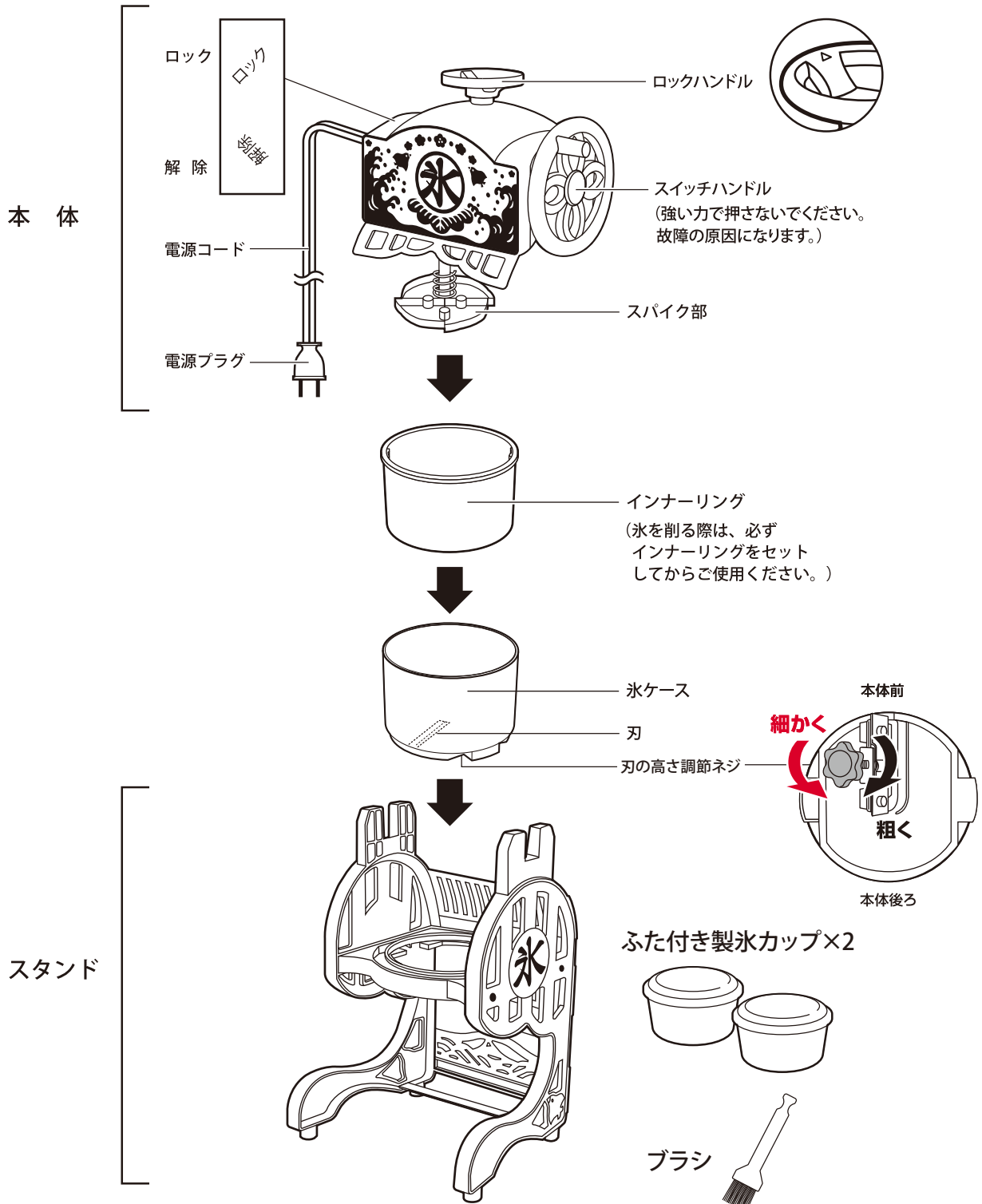
警告

 分解禁止	 分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店またはドウシヤお客様相談室(裏表紙をご参照ください)にご相談ください。	 ホコリを取る	 電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
 使用禁止	 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 指示	 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・火災の原因になります。
 禁止	 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。	 プラグを抜く	 使用後、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。 感電や火災・故障の原因になります。
 ぬれ手禁止	 ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。	 プラグを抜く	 異常時(こげ臭い、発煙など)は、電源プラグをコンセントから抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。
 禁止	 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・やけど、感電の原因になります。	 水ぬれ禁止	 水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
 禁止	 交流 100 V 以外で使わない。 火災・感電の原因になります。		

⚠ 注意

<p> 禁止</p> <p>製品を業務用として使用しない。 故障の原因になります。</p>	<p> 指示</p> <p></p> <p>電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く。 感電・ショートの原因になることがあります。</p>
<p> 禁止</p> <p></p> <p>本体やスタンドを落としたり、製品に強い衝撃を与えない。 感電・けが・故障・破損の原因になります。</p>	<p> 禁止</p> <p>専用の製氷カップで作った氷以外のものを氷ケースに入れれない。 破損・故障の原因になります。</p>
<p> 禁止</p> <p>運転中に本体を開けたり、容器の中、及び氷ケースの中へ指・スプーン・箸など氷以外のものを入れない。 けがの原因になります。</p>	<p> 禁止</p> <p>運転中に移動させない。 故障・けがの原因になります。</p>
<p> 禁止</p> <p>タコ足配線はしない。 火災の原因になります。</p>	<p> 禁止</p> <p>変形や破損など、異常があるときは使用しない。 感電の原因になります。</p>
<p> 禁止</p> <p>テーブルの端などに置かない。 落下して、故障・けがをする原因になります。</p>	<p> 指示</p> <p>平らなテーブルなどに置いて使用する。 破損・火災・感電の原因になります。</p>
<p> 禁止</p> <p>不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。 けが・火災の原因になることがあります。</p>	<p> 禁止</p> <p>製氷カップを加熱したり、電子レンジの中に入れてたりしない。 破裂・変形の原因になります。</p>
<p> 禁止</p> <p>次のような場所では使用しない。 ●水や油のかかりやすいところ。 ●湿気の多いところ。 ●火気の近く。 ●直接日光が長時間あたる場所。 ショート・感電の恐れ、変形・故障の原因になります。</p>	<p> 禁止</p> <p>本体部など製品の上部のみを持って持ち運びしない。 製品が落下するなどして、けがや破損の原因になります。持ち運ぶときは、電源プラグを抜き、製品の脚部と本体を持って注意して運んでください。</p>
<p> 禁止</p> <p></p> <p>2分以上の連続使用はしない。 モーターが故障する原因になります。</p>	<p> 禁止</p> <p></p> <p>スパイク部にさわらない。 けがの原因になります。</p>
<p> 禁止</p> <p>丸洗いしたり、本体部に水を入れたりしない。 ショート・感電の原因になります。</p>	<p> 禁止</p> <p></p> <p>氷ケースとスタンドは 40℃以上のお湯で洗わない。 変形・変色の原因になります。</p>
<p> 禁止</p> <p></p> <p>刃は鋭利なので直接手をふれない。 けがの原因になります。</p>	<p> 禁止</p> <p>住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属たわしなどは使わない。 変色や変形の原因になります。</p>

各部の名称とはたらき



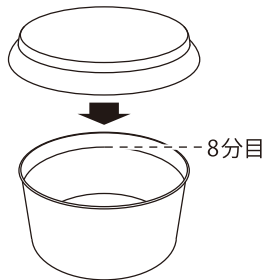
ご使用になる前に

- はじめてご使用になる前に、傷・凹み、ひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- 製品のシールは、はがさないでください。
- 品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合は、ご使用にならないで、お買い求めのお店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

正しい使いかた

⚠ 注意

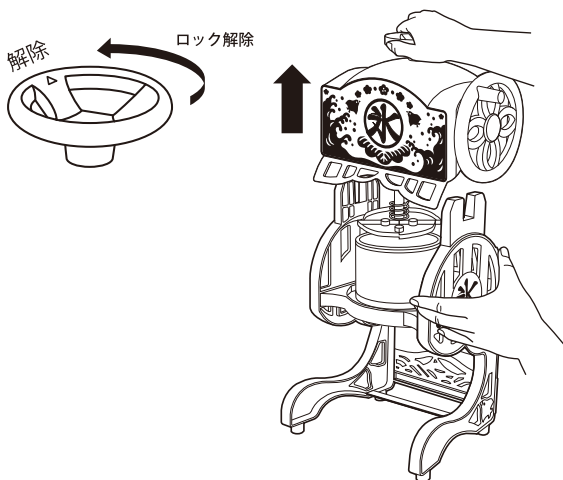
- 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。
けが・やけど・感電の原因になります。



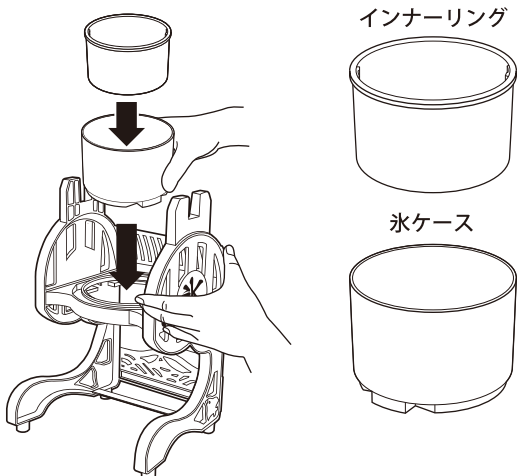
1. 製氷カップに水を約8分目まで入れて
ふたをきちんと閉めたのち、冷凍庫で
凍らせる

ご注意：

製氷カップいっぱいに入れた水を凍らせると、製氷カップがふくれたり、破損したり、カップのふたが飛んだりすることがあります。水量にご注意ください。



2. ロックハンドルを解除の位置に合わせ、
ロックハンドルを持ちながら本体を
スタンドから外す

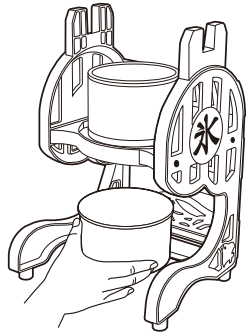


3. スタンドに氷ケース、インナーリング
の順にセットする

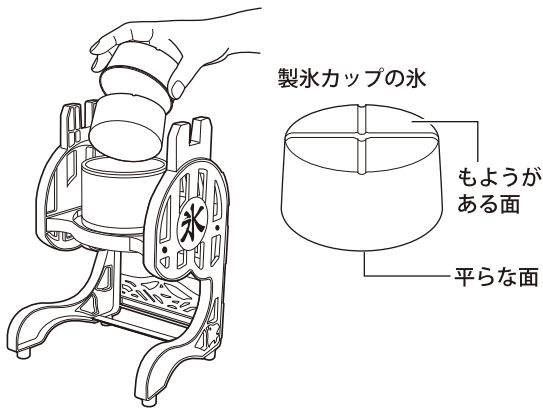
※ 氷ケースはラベルの貼っている側を奥にして、
セットしてください。

※ しっかりとハマったのを確認してください。

正しい使いかた



4. スタンドの部分にかき氷を受ける器を置く

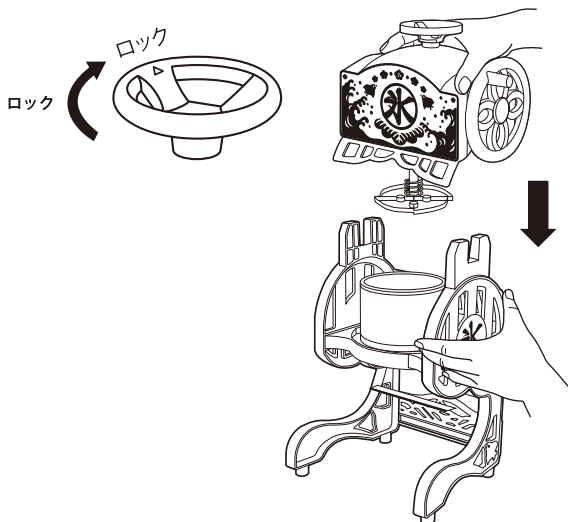


5. 製氷カップの氷の平らな面を下にして氷ケースに入れる

※氷を取り出すときは製氷カップの裏側に水をかけると取り出しやすくなります。

ご注意：

- 専用の製氷カップで作った氷以外のものを氷ケースに入れず。破損・故障の恐れがあります。
- バラ氷や市販のかたい氷はご使用できません。破損・故障の恐れがあります。
- 氷を製氷カップから取り出すときは、たたきつけないでください。破損の恐れがあります。



6. 本体をスタンドに差し込み、ロックハンドルがロックの位置にあることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込む

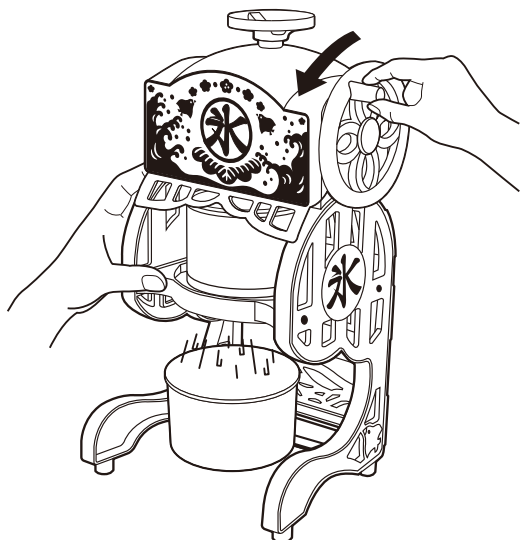
ご注意：

- 持ち運ぶときはスタンドごと持ち運んでください。
- ロックが解除された状態で本体をセットしてください。ロックが解除されていない状態で無理にセットすると故障の原因になります。
- 本体を氷ケースにセットするときは無理に押し込まないでください。抜けなくなる場合があります。
- ぬれた手で直接電源プラグを持つと危険です。必ず乾いた手で持ってください。

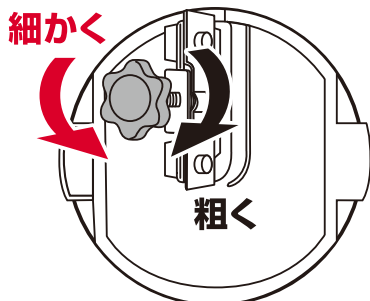
正しい使いかた



スイッチハンドルを強い力で押ししたり、反対側へ押さないでください。破損する恐れがあります。



本体前



本体後ろ

氷ケースの裏側(下から見た状態)

7. スイッチハンドルを矢印の方向へ手でゆっくりと下へ押す

- スイッチハンドルを押すとスパイク部が回転して氷を削ります。
- スイッチハンドルから手を離すとスパイク部がストップします。
- 氷が引っかかり削れなくなった場合は、一度本体をスタンドから外して再度本体を取り付けてください。

8. 刃の高さ調節ネジを回して、氷をお好みの粗さになるよう調節する。

調節タイプの刃の調節の仕方：

- ① 氷ケース裏側にある、刃の高さ調節ネジを、本体の下から見上げる様に見て反時計回り【細かく】の方向に止まるまで回してください。(刃が一番低い状態になり氷が削れない場合があります。)
- ② 氷を削りながら調節ネジをゆっくりと時計回り【粗く】に回してください。氷が削れ出したらお好みの粗さでネジの調節を止めてそのまま削ってください。氷の状態により一番「細かく」設定(最後まで回した状態)でも削れる場合がございますが、不良ではございません。

※一定の位置では削れない場合があります。

※氷の状態により削り具合は変化しますので、必要に応じて氷を削りながら調節を行ってください。

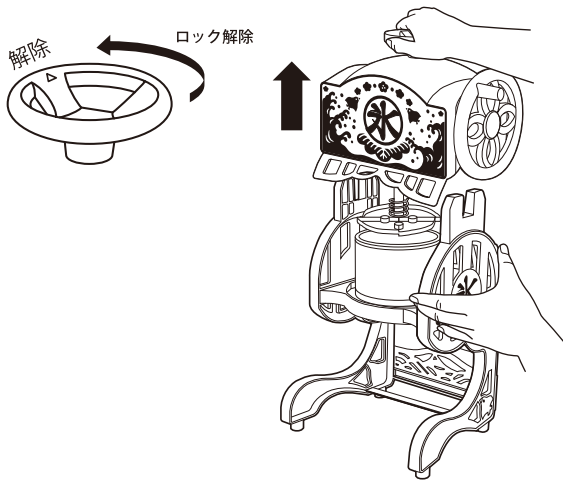
※調節ネジを強く回しすぎると回らなくなる場合があります。

ご注意：

- 氷ケースの中の氷がなくなった場合でも、自動停止はしませんので、氷が削れなくなったらスイッチハンドルから手をはなして運転を停止してください。
- スイッチハンドルを押してもモーターが作動しないときは、一度本体を外して、氷ケース内の氷の状態を確認してください。傾いた状態で凍っているものや、8分目以上の水で作った氷では本体がスタンドに正しく取付けできません。

- 2分以上連続して使用しない。モーターの異常過熱の原因となります。
- 刃・スパイク部にふれない。けがの原因になります。

正しい使いかた



9. 電源プラグをコンセントから抜き、ロックハンドルを解除の位置に合わせ、ロックハンドルを持ちながら本体をスタンドから外す



10. 氷ケースに残った氷を捨てる

※ 構造上、氷ケース内に氷が残ります。続けて氷を削るときは、氷ケース内に残っている氷を必ず捨ててください。残ったまま新しい氷を入れると空回りして削れません。

ご注意：

スパイク部と刃があたらないような構造になっているため、氷ケース内に氷が残ります。故障ではありません。



11. 本体に残った水分をふきとる

ご注意：

使用後は本体に付着した水が垂れることがありますので、ふきんなどの上に置いて水切りをしてください。

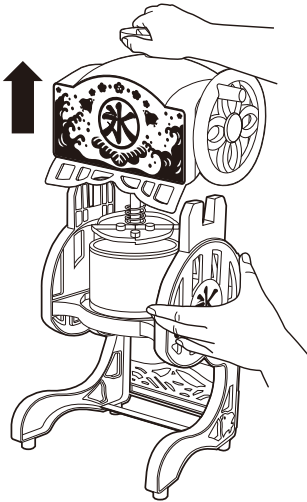
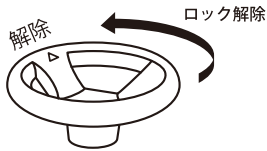
お手入れと保存



警告

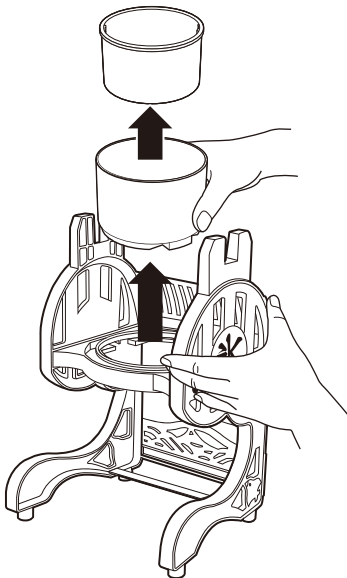
お手入れの際は、必ず電源プラグを抜く。
感電やけがの原因になります。

本体・スパイク部



1. ロックハンドルを解除の位置に合わせ、
ロックハンドルを持ちながら
本体をスタンドから外す
2. 電源コードをたばねる
3. スタンドから氷ケース・インナーリングを外す
スタンドと氷ケースは軽く引っ張って外してくだ
さい。
その際、刃には十分注意してください。
4. 本体のスパイク部を乾いた布で拭く

完全に乾いた状態で保存してください。



お願い

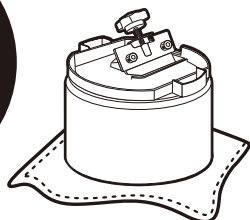
- お子様には絶対にふれさせないようにしてください。
- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属たわしなどは使わないでください。変色や変形の原因になります。
- 落ちない汚れは布に中性洗剤をしめらせてよくしぼってから軽くふき取ってください。
- 本体は水をかけて洗わないでください。感電や故障の原因になります。

お手入れと保存

氷ケース・インナーリング



禁止

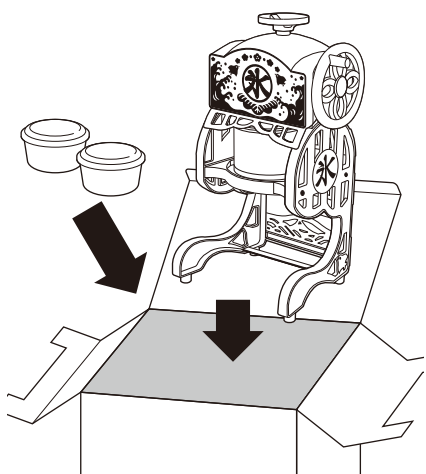


▲ 注意

●刃は直接手でふれない。
けがの原因になります。

1. 氷ケースの刃には直接手をふれないように、付属のブラシを使い、水洗いをして、ふきん等の上に置いて完全に乾かしてください。
刃や刃の高さ調節ネジなどの金属部分に水が残っているとサビが発生する恐れがありますのでご注意ください。
2. 完全に乾かしたあと、刃に食用油を塗って保存してください。

保存のしかた



長期間ご使用にならない場合は、サビが発生しますので、完全に乾いてから箱に入れて保存してください。